

令和4年度

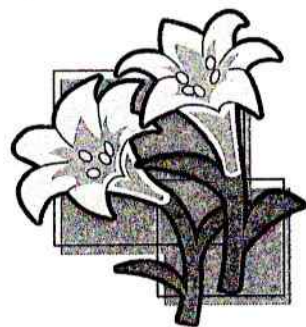
# 春季永代経法要のご案内

きょうきょう たと かがみ  
経教はこれを喩うるに鏡のごとし

善導大師

中国の僧、善導大師はお経(仏の教え)のことを「鏡」に喩えられています。それは仏の教えによって明らかになるのは、決して自らでは気付くことが出来ない自分自身の姿であるということです。

私たち浄土真宗における永代経法要の本義は、亡き人をご縁として、私がお経(仏の教え)をいただき、未来永代に伝えるということです。そのため、この法要では普段お勤めしている「正信偈」ではなく、浄土真宗の正依の經典である「浄土三部経」という三巻のお経をお勤めします。私と仏の教えとの架け橋となって下さっている亡き人を偲ぶとともに、お勤め、ご法話を通し、自分自身の生き方がどうなっているかということを尋ねる大切な機会となるようご案内申し上げます。



5月24日(火)

- ◆午後1時～  
2時半迄
- ・お勤め 『仏説無量寿経』
- ・ご法話 お話 当院住職

5月25日(水)

- ◆午後1時～  
2時半迄
- ・お勤め 『仏説阿弥陀経』
- ・ご法話 お話 市内布教使

※コロナウィルス感染拡大防止策として短めの法話になる予定です。